

凡例 問い合わせ(申込)先 HP ホームページアドレス Eメールアドレス

中学生の「税についての作文」

次代を担う中学生が、私たちの身近な生活環境と税との関わりについて関心を持ち、税への理解を深められるよう、全国納税貯蓄組合連合会および国税庁が主催する中学生の「税についての作文」の募集が毎年行われています。今回も本区の多くの中学生が応募しました。

その中から、平成28年度「東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞」を受賞した、銀座中学校の高本真弓さんと日本橋中学校の井上円香さんの作品を紹介します。
〒108-8346(3546)5265
国税務課管理係

「情けは人のためならず」

銀座中学校 高本真弓
「108円です。」

店員さんに言われてあわてて3円を財布から取り出した。そう言えば消費税は5%から8%に引き上げられたのだと改めて感じさせられることは未だによくある。増税前は消費税が5%だという生活に慣れてきたためか、あまり税金を意識したことは無かった。しかし増税後、自分も日頃から税を納める立場にあるということを実感した。特に自分で洋服を買うようになってからは8%とはいえ、意外と多くの税金を支払わなければならないのだと気付いた。税金はめぐりめぐって自分にかえってくるものだと言

が、実際自分がどれほど税金の恩恵を受けているのか分からなかった。税金の重要性を知るには、自分と税金との関係を知ることが一番だ。そこで、私の身の回りでどんなところに税金が使われているのか考えてみた。まずは小・中学校での授業料だ。私は今塾に行っており、通うためには、お金がかかる。同じように学校で学ぶ時も授業料や教材費はかかっている。しかし、税金によって支払われているため、私達は支払わなくても良いのだ。これは幸せなことだと思

て損をするということではない。逆に私たちの生活を豊かにしてくれると言っても過言ではないのだ。「情けは人のためならず」ということばがあるように、税金を支払えばいつかは自分にめぐりめぐってその恩恵が返ってくる。これから消費税は10%に引き上げられる。増えた税収の使い道がどのようになるか興味深い。選挙権を持つ年齢は18歳に引き下げられたので、私も4年後には税の使い道を間接的に決めることができる立場になる。今までは自分の身の回りで税がどのように使われているのかを見聞きして知ることしかしていなかった。新聞を読んだり、日々の勉強を通して税について考えたら税だけでなく、社会の仕組みについても知識が深まりそうだ。税金は使い次第で国民の生活も変る。社会の一員になる前に今度は知識の面から税について考えたいと思う。

多量の薬や治療費が必要だったが、区からの補助によりほとんど医療費を負担せずに済んだ。姉は医療費を負担するようになつてから補助の大きさを実感したという。他にも税金は公園や道路、交通機関の整備や図書館の運営など、身近なところに使われている。税金で運営されている施設は誰でも自由に利用することができる。どんな人でも平等なサービスが受けられるのだ。税金が身近などんなところでどのように使われているのかが見えてきたところで、税金の果たしている役割の大きさも知ることができた。税金を支払うということは、決し

「税によるつながり」

日本橋中学校 井上円香

ここ最近、お年寄りがどんどん増えているという話をよく耳にする。私は、毎年夏休みに、北海道の祖父の所に帰省していたが、祖父の住む地域は特に、若者が減って過疎化が進んでいた。社会保障費を負担する働き手を増やすには、少子化対策を進めていく必要があるが、それもお

金のかかる事で、今いる働き手の負担が、私達中学生が働き手になる頃にはもっと増えていくと考えると不安だった。私が「税」について知るまでは、私が納めている税金といえ

だ。そのような報道がされる度、自分の中で、大人になったら色々な税をしっかりと納めたいという意識が高まる。2020年には、東京でオリンピックが開催される。その開催費用には、もちろん国民が納めた税金が使われる。日本の文化や心、技術を世界に発信し、スポーツにより世界とつながる、そんなオリンピックになったらいいなと私は感じていた。

私に納めている税金といえ、消費税ぐらいいいか思いつかないが、父や母だけでなく日本にいる多くの大人の人は、住民税や所得税、固定資産税など、本当に様々な種類の税を納めているのを学校で知った。その事を教えてくれた学校も一つ、その他の、病気をした時に助けてくれる病院や、命を救う消防、国の秩序を保つ警察など、私達の周囲には、税金で成り立っているものがたくさんある。税を納めるという事は、めぐりめぐって皆にその恵みをもたらしてくれる。

そして、これからますます増えていくであろうお年寄りの為に、税金を使う事も、若者の子育てを支援する為に税金を使うことも、結局は自分の為に使われる事になるのだから、自分も大人になったら、きちんと税金を納めていこうと思った。加えて、私も目にした過疎化の地域を、日本が一つになつて支えていくには、税を納める事が、まず私に出来ることかなと感じた。税を納める事は、まさに支えあい、思いやる事であるという事に、気づいた。

ニユースでは、資産家やスポーツ選手などが脱税容疑で逮捕されたなどという報道がたまにされているのを見かけると、それは酷い事だといつも感じる。確かに、所得の大きい人ほど所得税は高くなるが、税を納める事は支え合う事、そして自分の為になる事

隅田川周遊ツアー 参加者募集

場場合は抽選)

日時 3月20日(祝) 午前9時30分発(屋形船タイプ2便)

集合場所 朝潮運河船着場(晴海3-1)

対象 区内在住・在勤者

内容 東京周辺の水域を屋形船から見学し、東京の発展の様子や伝統ある街並みを約1時間半の行程で、ガイドの説明とともに周遊します。

定員 100人(申し込み多数の場合)

申し込み方法 3月6日(必着)までに往復はがきに①隅田川周遊ツアー②氏名・ふりがな③郵便番号・住所④電話番号⑤年齢⑥参加人数(5人まで)を記入して区へ申し込む。

〒104-0052 中央区島島4-18-1(株)朝汐宛
朝潮運河水辺の浄化と活性化有効利用を考える会
☎(3532)3810

あなたの建物は安全ですか? 建築物防災週間

3月1日(水)～7日(火)

安心して住めるまちにするには、建物を地震や火災に対して強くする必要があります。そのためには、日頃から建物の維持管理を適切に行うことが大切です。雑居ビルの火災や外壁・看板の落下の事例では、日頃の維持管理が適切に行われていなかったことが事故の一因とみられるものがありました。

防災意識の向上を図るため、全国で「建築物防災週間」が年2回(3月、9月)実施されています。建物所有者・管理者の皆さんは、これを機に維持管理の見直しや建物の点検をお願いします。

また、区ではいくつかの建築物を対象に防災査察を行いますので、ご協力をお願いします。

☎(3546)5455 建築課調査係

多重債務110番

中央区消費生活センターでは、都と連携して特別相談「多重債務110番」を実施します。区役所1階の消費生活センター窓口で直接お越しになるか、消費生活相談専用電話におかけください。

多重債務問題は必ず解決できます。より良い解決方法を一緒に考えましょう。

日時 3月6日(月)、7日(火) 午前9時～午後4時

対象 区内在住・在勤・在学者

消費生活相談専用電話 ☎(3543)0084

☎(3546)5727 中央区消費生活センター ☎(3546)5332